

日本文理初戦快勝



高知農を下して校歌を歌う日本文理の選手たち
=21日、甲子園球場

センバツ15年ぶり勝利 主戦・染谷投打に躍動

日本文理	0	2	0	2	3	1	0	0	0	8
高知農	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

第98回選抜高校野球大会（センバツ）は21日、兵庫県西宮市の甲子園球場で1回戦を行い、本県の日本文理が8-1で21世紀杯の高知農を下し、2回戦進出を決めた。県勢がセンバツで勝利したのは2011年の日本文理以来15年ぶり。

12年ぶり6回目出場の日本文理は二回、1死一、三塁から主戦の染谷崇史の犠飛と安達煌栄千の左前適時打で2点を先制。五回には秦碧羽の三塁打など長短4連打で3点を追加し、リードを広げた。

先発の染谷は四回に味方の失策もあり1点を失ったが、直球と変化球のコンビネーションで打たせて取り、相手打線を7回4安打に抑えた。八回からは箕浦環太が登板し、得点を与えなかった。

日本文理は大会7日目（25日）の第2試合で花咲徳栄（埼玉）と2回戦を戦う。